



ちばクラウドファンディングのご紹介



PRプロデューサー・アドバイザー
石井貴美子



ちばクラウドファンディングは、 千葉の地方創生に貢献する クラウドファンディングプラットフォームです。

2019年4月 **CAMPFIRE エリアオーナー 業務委託契約締結**
「FAAAVO 千葉幕張」運営開始



2021年2月 **CAMPFIRE 業務委託契約締結**
「CAMPFIRE キュレーションパートナー」運営開始



2021年3月 **READYFOR 業務委託契約締結**
「READYFOR パートナー」運営開始



ちば



クラウドファンディング 活動実績



プロジェクト実施中
最終結果にて実績、スクショ差し替え予定

2021年8月9日現在
プロジェクト取扱実績



動物たちに「より豊かで幸せな日々」を届けるため、屠体給餌をサポートしてください！

まちづくり・千葉市動物公園



現在 3,159,500円
支援者 414人
残り 6日



プロジェクト件数
25件

総支援金額
21,060,357円

総支援人数
2,557名



私たち、ちばクラウドファンディングのアドバイザーは プロジェクトの立て方から 情報発信まで 起案者と一緒になってプロジェクトに取り組んでいます。



神長 尊士：プロジェクトプロデューサー
プロジェクトの総責任者。
企画概要、スケジュール、プロジェクトストーリーをプロジェクト
オーナーとともに作り上げる。



石井 貴美子：PRプロデューサー
プロジェクトの認知拡大のため、メディア露出をはじめ、
ストーリー作り、支援につながる広報PR活動をしていく。



上原 一紀：プロジェクトディレクター
プロジェクトストーリーに基づき、プロジェクトオーナーと共に、
具体的な形に落とししていくために進行管理を行う。



吉川 亮：アドバイザー
千葉市動物公園さんのプロジェクト『動物たちにより豊かで幸
せな日々を届けるため、屠体給餌をサポートしてください！』を
アドバイザーとしてサポートし、目標達成。



川口 明美



ノグチ ノコ



佐藤 杏菜



上杉 亜矢子



福地 知之



阿部 南



クラウドファンディング アドバイザー



特徴1：起案経験者から、地域アドバイザーへ



上原 一紀さん

千葉県全域



川口 明美さん

多古・香取・成田エリア



ノグチ ノブコさん

東葛エリア



夢の叶え方を子供たちに伝えたい！仲間の持ち味を活かすカードゲーム開発中！

まちづくり・ faavo

SUCCESS

現在	支援者	残り
262,216円	57人	終了



千葉県多古町から、世界に誇れる「#多古ワイン」造りに挑戦！支援者100人集めたい

まちづくり・ 多古ワイン・船越...

SUCCESS

現在	支援者	残り
1,642,300円	124人	終了



子どもたちの学習に役立つ！「流山みりん物語」をマンガにしたい！

書籍・雑誌出 faavo

SUCCESS

現在	支援者	残り
902,350円	106人	終了

ちば



クラウドファンディング アドバイザー



特徴2：得意分野を活かした活動

SNS運営、PR、イラストレーター、動画クリエイティブ、ライターなど



石井 貴美子さん

※掲載各位
リリース

「飲んで応援！」クラウドファンディング
行き場をなくした山武特産のいちごをたっぷり使った
「いちごビール（発泡酒）」を造り、千葉・九十九里の食と観光に元気を取り戻したい！
クラウドファンディング目標：支援金額 20万円
【15日間限定】2020年6月1日（月）～2020年6月15日（月）

資会社専務取締役（代表社員 佐瀬 建一）は、太平洋を望む九十九里浜にほど近い千葉県山武市にある酒蔵で明治16年からこの地で創業以来「殿乃菊蔵」を醸造し、地元の方をはじめ多くの皆様に支えられ、約130年たりに醸造を続けてまいりました。
また、130年の間に培った醸造技術をもとに、1997年よりビール製造販売を開始。千葉・九十九里から、世界に届けるべく「九十九里オーシャンビール」が誕生しました。
そして、ここ山武市は観光地が有る一方で、「ストロベリーロード」を中心に約20軒のいちご農園が集まっており、例年多くの観光客で賑わってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響で、いちご狩りのキャンセルが相次ぎゼロに近い状態に。食べ頃のいちごは行き場をなくしてしまいました。
そこで、行き場をなくした九十九里特産のいちごをたっぷり使った「いちごビール（発泡酒）」を造り、千葉・九十九里の食と観光を元気にできれば！と考え、ふるさとクラウドファンディング「FAAVO 千葉募張」にてプロジェクトを立ち上げました。

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大を受けて、ついに日本政府は全都道府県に対して史上初となる「緊急事態宣言」発令。全国的に外出自粛が呼びかけられ、未曾有の被害を受け続けるに立たされているのが観光産業です。

千葉県全体の3月宿泊者は8割減。九十九里地域においても、千葉県で2割目に落ち込み77.9%減。
また、観光客は半減。九十九里地域においては52.5%に落ち込み、観光・宿泊ともに集客が厳しい実態となっています。

地域全体が昨年の台風で甚大な被害を受け、まだ希望の見えない最中、追い打ちをかけるようにコロナショックに見舞われ、誰もが再起の気持ちを失いつつあります。「まだ諦めない」という「希望と勇気」を取り戻してもらうため、地元の有志が立ち上がりました。

観光は地域経済を支える重要な産業
「いちごビール（発泡酒）」を造り、千葉・九十九里の食と観光を元気にしたい！

ここ千葉県山武市には「ストロベリーロード」と呼ばれる街道沿いに20軒程度のいちご狩りが楽しめる観光地があります。例年、3月から5月のゴールデンウィークはこの最盛期でしたが、いちご狩りも中止を余儀なくされ、過剰な在庫が生じてまいりました。

- ・例年1週間で500人に来場していたのだが、0人。
- ・大切に育てていたいちごを一粒たりとも採れない。
- ・今年は何とこれ以上いちごを収穫できないのか。

いちご農園の園主 浦野さんが悩んでいるのを聞き、お手伝いできる事がないかと考え、ひとつの答えに辿り着きました。

行き場をなくした九十九里特産のいちごをたっぷり使った「いちごビール（発泡酒）」を造り、千葉・九十九里の食と観光を元気にしたい！

早速イチゴビール（発泡酒）造りのため、まずは収穫のお手伝いから。いちご農園の園主 浦野さんに指導していただき、従業員様出で収穫。ビール（発泡酒）の材料が必要な量、約400kg収穫しました。そして、地元産の食材を使った、山武コラボ商品「いちごビール（発泡酒）」が誕生しました。

また、被害を受けたのはいちご農園だけではなく、九十九里の農産業、地域産業を復興の希望とたく、認知拡大につながるクラウドファンディングでのいちごビール提供プロジェクトを始めるとしました。

	観光地数 (4/2020)	宿泊施設数 (4/2020)
県全体	433,009	41,916
千葉県	(A)53,276	(A)5,153
千葉県地域	1,455,509	93,993
北総地域	262,032	9,291
中央地域	(A)2,276	(A)2,276
九十九里地域	43,641	4,261
南総地域	(A)52,556	(A)7,730
東京圏地域	218,147	19,464
その他地域	(A)50,426	(A)7,013

▲なごいいちご農園 圃生浦野さん（左）と、専務取締役・九十九里オーシャンビール園長さん



▲浦野さんといちご農園の園主 園主浦野さんとスタッフ

▼日本経済新聞社 2020年6月11日掲載

景気づけ イチゴで一掃

ビールに山武産使う
地元酒造、農園を支援
ネットで資金募り販売

▼毎日新聞社 2020年6月4日掲載

「イチゴビール」で元気に

山武の農園苦境
酒造メーカー「CF」で協力を

▼読売新聞社 2020年6月7日掲載

地元イチゴで「ビール」

自産で来客減の農園支援



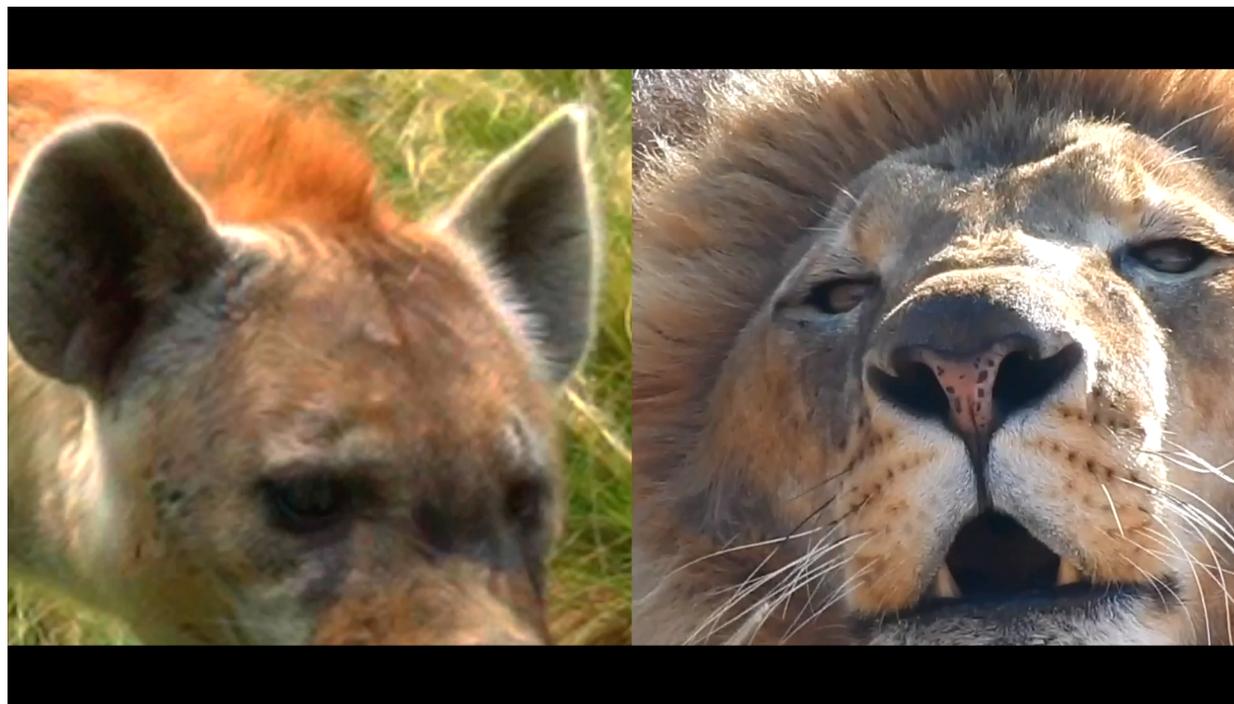


特徴2：得意分野を活かした活動

SNS運営、PR、イラストレーター、動画クリエイティブ、ライターなど



佐藤 杏菜さん





共感を価値に変える、クラウドファンディング

1) クラウドファンディングとは

- ・基礎講座
- ・プラットフォームの特徴
- ・クラウドファンディングという試み
金融機関・行政との協業による地方創生の可能性

2) 千葉県県内事例のご紹介

- ・複数回起案事例
八街市：山本ファーム「ワイナリー設立」
- ・自治体としての取り組み
茂原市：観光協会「伐採される桜を記録と記憶に」
- ・地域創生、地域産品創出
多古町：船越ワイナリー「ワイナリー設立」
- ・地域創生、地域産品創出、フードロス
寒菊銘醸「いちごビール」

3) 千葉市動物公園プロジェクトを振り返る



ちばクラウドファンディング
運営：幕張PLAY株式会社